



地域防災力は、日々の備えから

上尾市では、市内6地区それぞれの指定避難所で、住民参加型の避難訓練を実施しており、年間で計6回行われます。令和7年6月14日には、今年度1回目の上尾市住民避難訓練を大石北小学校で実施しました。避難経路の確認や危険箇所の把握を中心とした実践的な訓練に、150人を超える地域の皆さまや防災協定企業などの皆さまにご参加いただきました。参加者全員が、実際の災害を想定した訓練を行い、地域の防災体制や自身の避難行動について理解を深める貴重な機会となりました。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。だからこそ、日ごろからの備えと、地域の連携が非常に重要です。今回の訓練で得た知識や気づきを、ぜひご家庭や地域で共有していただき、ご自身や大切な人の命を守ってほしいと思います。

また、こうした地域の防災力をさらに高めるため、今年度から「防災士養成講座」を市主催で実施します。これまでは年間15人の防災士を育成してきましたが、この取り組みにより、3年間で最大240人の防災士が育成されます。地域で活躍する防災士が増えることで、地域の共助体制が強化され、災害時の対応力が一層向上することを期待しています。

今後も、災害に強い上尾市を築くため、地域の声に耳を傾けながら、率先垂範の姿勢で防災体制の強化にも取り組み、誰もが安心して暮らせるまちづくりを着実に進めてまいります。



激甚化する災害について語る市長

市長 田山 稔